

『15 Minutes Made Rehabilitation』参加団体・スタッフ用ルール

※7月15日(水)に東京都から警戒レベルが4段階の中で最も高い「感染が拡大していると思われる」に引き上げられて以降、対面での稽古はストップしています。

■稽古場ルールについて

- ・稽古参加者は全員、自宅出発前に検温。発熱もしくは体調不良があった場合は欠席する。
- ・地下階など、窓のない施設は利用しない。
- ・毎稽古開始前に15分程度、稽古場の換気を行う。
- ・稽古場到着時に再度検温。発熱もしくは体調不良があった場合は速やかに帰宅する。
- ・Mrs. fictions が配布した体調管理シートを利用し、毎稽古において参加者の出欠席・検温結果・体調を記録する。各人の緊急連絡先も集めておく。
- ・毎稽古場に Mrs. fictions が配布したアルコール消毒液とハンドソープを設置する。稽古中は適宜休憩を挟み、その都度手洗い、うがい、手指の消毒、換気を行う。
- ・稽古は Mrs. fictions が配布したクリアマスクを配布、着用して行う。
- ・参加者同士の接触、道具の共有を極力行わない。行った場合は必ず消毒を行う。
- ・稽古中は各人の距離を十分に取る。休憩中の会話や食事中も同様に。
- ・稽古場へのケータリングは用意しない。飲食は各自で用意し、絶対に共有しない。
- ・稽古終了後は速やかに解散する。寂しい。

■稽古中に体調不良者が出た場合について

- ・体調不良者は速やかに申し出ること。また体調が回復してからも丸一日は自宅待機し、稽古に参加しない。
- ・感染症を疑う症状が出た場合、必ず稽古場へ報告し、速やかに病院で検査を受ける。
- ・上記の際は検査結果が判明するまで稽古場へ集まったの稽古は中断する。
- ・感染が判明した場合、病院・保健所等の指示に従う。稽古場で接触した参加者全員も病院で検査を受ける。
- ・上記の情報は速やかに全体に共有し、状況によって個人の降板、団体の降板、公演中止等の判断をする。
- ・稽古場以外で感染症の疑いのある方との接触が判明した場合も速やかに稽古場へ報告する。

■劇場入り後、出演者等公演参加者が行う予防対策について

- ・稽古場でのガイドラインと同様、参加者は全員、自宅出発前と劇場到着時に検温する。発熱もしくは体調不良があった場合は速やかに申し出、病院で検査を受ける。
- ・(場当たり・ゲネプロなど)リハーサルの時間は団体ごとに分け、本番日以外での劇場滞在時間を少なくする。
- ・劇場内にて出演者の立ち入る範囲は「楽屋・裏まわり・舞台上」のみとし、劇場正面入り口や客席やロビー等、お客様が滞在する可能性のある場所へは立ち入らない。
- ・俳優の待機場所に関しては、複数の楽屋以外にも劇場稽古場なども利用し、各団体ごとに待機場所を分散させる。少人数の団体が待機場所を共用する必要がある場合は、楽屋利用人数の上限を収容人数の半数(5名程度)とする。
- ・本番準備時の水回りの利用やアップの時間なども時間割を組み、できる限り団体間の接触を避ける。アップ時もマスクないしはフェイスガードの着用を徹底する。
- ・本番以外の時間では楽屋の窓は開放し換気を徹底する。また、楽屋滞在中もマスクの着用を徹底し、メイク(メイク直しも含む)時間以外では外さない。